

木材によるエネルギー創出

道の駅「たかのす」の発電所（40kW）



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



13 気候変動に
具体的な対策を



8 働きがいも
経済成長も



石油や天然ガスなどの資源に乏しく、エネルギー自給率が1割ほどの日本（※）。そんな日本で、エネルギーを自給できる発電手段の一つが木質バイオマス発電です。再生可能エネルギーの固定価格買取制度（FIT 制度）も追い風に、石炭・石油等の化石燃料に代わり、カーボン・ニュートラルな再生可能エネルギーとして、木質バイオマスを利用する動きが広がっています。

発電のエネルギー変換効率は約30%と低いですが、発電に加え熱利用を併用することで、経済、環境両面において効果的な取組が行われています。秋田県北秋田市の道の駅「たかのす」では、ボルター秋田株式会社が40kW のガス化発電設備「Volter40」を導入し、FIT 制度による売電と足湯への温水供給を行っています。

※令和元年度エネルギーに関する年次報告（資源エネルギー庁）より